

## ◎中学校完全給食実施に向けた検討状況について

### 1 給食センター（旧平作小学校）地域説明会について

#### （1）地域説明会

旧平作小学校区を含む池上小学校区の 9 町内会（阿部倉町内会、城山自治会、池上町会、金谷町内会、平作町内会、第一平作町内会、第 2 平作町内会、コモンシティ湘南衣笠町内会、湘南池上自治会）の住民の方を対象に説明会を開催し、これまでの検討経過、既存施設解体後の避難場所、学校開放を行うことができる期間、想定される今後のスケジュールなどについて説明を行いました。

開催日	開催場所	参加人数
平成 30 年 2 月 3 日	旧平作小学校（校舎）	50 人
平成 30 年 2 月 7 日	池上小学校（体育館）	15 人

#### （2）地域説明会等における主な質問・意見等

##### ア 給食センターの概要

①会議室は市の業務専用か。地域にも開放するのか。

⇒主には市職員や運営事業者の会議、研修会等に使用する想定である。

②見学スペースからは、給食センターの作業をすべて見渡せるのか。

⇒食材搬入から配送までのすべての作業が見えるようになると、コストがかかり過ぎるため、最低限必要な場所が見渡せる内容で検討している。

③調理実習室は市の業務専用か。

⇒主には小学校も含めた学校給食関係の栄養士が献立研究に使用する場所として想定しているが、他の要望等があれば検討したいと考えている。

④従業員の通勤車両の駐車台数は。

⇒公共交通機関の利用や自転車通勤も考えられるため、詳細な台数は未定である。

##### イ 周辺環境への対策

①給食センターの稼働時間は。夜間の稼働はあるのか。車両の出入りの時間帯は何時頃か。

- ⇒概ね7時から16時頃までの稼働を想定しており夜間は想定していない。食材等の搬入車両は8時頃、配送車両は9時から11時頃、11時から12時頃、13時から14時頃になると想定している。
- ②従業員や搬入の車両の出入りの時間が子どもたちの通学時間と重なるので心配である。
- ⇒危険な時間帯などを確認し、関係機関と協議を行い、車両出入口の場所や時間、走行経路などを調整したい。
- ③給食センターの出入口を久里浜田浦線側に設けて、車両の出入りは久里浜田浦線側のみにするよう、事業者に徹底していただきたい。  
⇒関係機関と協議しながら前向きに検討する。
- ④洗剤等も使うことになると思うが、排水処理は地域住民に影響がないように行うのか。  
⇒油脂溜めや除害施設で排水を処理してから下水に流すことになる。設備は十分な性能を確保する。
- ⑤工事期間中の車両の出入りは校門からになると思うが、周辺にガードレールがほとんどない。通学時間中は工事車両の走行を控えるなど、十分注意してほしい。
- ⑥アスベストの飛散防止の対処を十分にしてほしい。  
⇒解体する際は安全面の問題がないよう、環境省のマニュアルに沿った内容で適切に行っていきたい。
- ⑦給食センターの維持管理が民間委託となった場合、土手の草など、敷地の植栽はどのように管理するのか。  
⇒維持管理の内容を具体的に設定して委託する。問題が生じた場合は、市から委託事業者に連絡して対応することになる。

#### ウ 避難場所

- ①避難所が旧平作小学校から池上小学校、池上中学校に変更される場合、避難所運営マニュアルを見直さなければならないが、いつ頃、方針が決まるのか。  
⇒避難所運営マニュアルの見直しには時間を要するので、市民安全部で早急に避難所の変更内容を検討し、地域に連絡する。
- ②資料に「地域の方への炊き出し」とあるが、どの範囲か。また、食材の備蓄などはどの程度行うのか。  
⇒ライフラインが使える状態であれば、10,000食までは対応可能と考えているが、市内全域とはいかないと思うので、基本的には

平作、池上の周辺地域になると想定している。ライフラインが途絶えてしまう場合も想定されるため、移動式の釜を別に用意したいと考えている。その際にどの程度まで提供可能かは、熱源等を含め検討している。また、概ね3日程度の米、水を備蓄する想定である。

## 工 学校開放

- ①地質調査期間中、グラウンド、倉庫、駐車スペースは使えないのか。  
⇒調査機材の保全、利用者の安全を考えると、調査期間中はグラウンドの開放を停止せざるを得ないと考えている。倉庫や駐車場の出入りは問題ないと考えているが、安全管理上、一部制限させていただく可能性はある。
- ②グラウンドと体育館は残らないのか。給食センターを3階建てなどにして敷地に余裕を持たせ残すことはできないか。  
⇒敷地全体を給食センター用地として使用し、グラウンドと体育館は残さない想定である。建物の階数を増やすことは、建設コストの増加や調理作業の複雑化など、デメリットが大きい。その他、様々な条件もあり難しいと考えている。

## オ その他

- ①旧平作小学校を解体する際、見学会をぜひ実施してほしい。  
②旧平作小学校の敷地内に埋設されている放射能汚染土はどうなるのか。  
⇒平成30年3月15日までに下町浄化センターに移設する予定である。

## 2 検討組織等の開催状況等について

### (1) 検討組織等の開催状況

開催日	会議名称
平成30年 2月 8日	中学校完全給食推進本部【第7回】
平成30年 3月 2日	中学校完全給食実施等検討特別委員会(市議会)

### (2) 各検討組織等における質問・意見等

(平成30年2月8日開催 中学校完全給食推進本部【第7回】)

\* 「⇒」は質問に対する会議中の回答等を記載しています。

## ア 事業手法

- ①運営面を含めた発注方法は、調理事業者のノウハウを活用した効率的な施設整備が期待できる。コスト面だけでなく、市内経済への影響等も考慮し、DBO方式が妥当であると考えている。
- ②補助金や起債で対応できる状況と考えており、金利等を考慮すると民間資金を活用するPFI方式ではない方が良いと考えている。また、16年目以降に再募集する際も競争原理が確保できるのであれば、運営を含めて発注するDBO方式が良いと思う。
- ③SPCを設置するPFI方式の方が責任の所在が明確であると思う。  
⇒責任の所在に関してはPFI方式の方が明確になると思うが、SPCの設置費用や出資金などのコスト面、地元事業者の参画のしやすさ等について検討した結果、DBO方式が最善と判断した。
- ④地元事業者が参画できるのはどの業務か。  
⇒意向調査では、参画の可能性が高いのは、設計・建設業務であり、運営業務についても参画希望があった。地元の運営事業者を含めてグループを組みたいとの回答もあった。
- ⑤DBO方式についての知識がない事業者も多く、設計・建設業務への参画は難しいと思う。本市で進めている他のPFI事業では地元事業者の参画はほとんどない。  
⇒意向調査では参画希望が示されているが、精査した上で地元事業者が参画しやすい方策について検討したい。
- ⑥地元事業者が参入しやすいようにしてほしいとの要望も聞いているが、DBO方式であっても、地元事業者のみでグループを組んで参入するのは難しいと思われる。地元事業者向けの説明会を行い、応募できる体制づくりをしてほしい。また、事業体の組成に間に合うよう、スケジュール面でも配慮してほしい。  
⇒応募資格の緩和などの要望も把握している。早めに情報提供できるようスケジュール面も含めて検討したい。
- ⑦食材調達も含めて地元事業者が応募できる体制を整えてほしい。食材調達に関する方針は早めに公表してほしい。  
⇒食材調達は市の業務であり、委託業務には含まれない。小学校給食の食材納入者である事業者や組合と調整しながら進めたい。小学校給食の食材納入者に対しては、2月に開催した給食費の公会計化に関する説明会の中で中学校給食に関しても説明を行った。今後も協議、調整を行っていく。

⑧今後は PPP／PFI 事業も入札及び契約審査委員会の審査対象とする予定である。JV（ジョイント・ヴェンチャー＝複数企業が構成する事業体）については、契約の参加条件などで調整が難航する場合もあるので、早めに契約課と調整を進めてほしい。

#### イ 基本計画

①コスト削減や給食センターにおける作業負担軽減の観点から、食具を生徒に持参させる考えはあるか。

⇒食育の一環として、食具の取り扱いも給食指導に含まれると考えており、小学校と同様に市で用意したものを使用することを想定している。

②今後も地域住民に対して働きかけを行っていくのか。説明は丁寧に行ってほしい。

⇒適宜情報提供を行い必要に応じて説明会を開催する。現時点では、解体工事の予定等が具体的になる時期に開催する想定をしている。

#### 3 整備スケジュールについて

導入可能性調査の結果等を踏まえ、現時点で想定する整備スケジュールは次のとおりです。

##### 【平成 30 年度（2018 年度）】

- ・給食センター整備等事業者の選定業務着手
- ・中学校校舎に整備する昇降機・荷受室の設計業務着手

##### 【平成 31 年度（2019 年度）】

- ・給食センター整備等事業者の決定
- ・給食センター建設予定地の建物解体
- ・給食センター設計業務着手
- ・中学校校舎に整備する昇降機・荷受室の整備工事着手

##### 【平成 32 年度（2020 年度）】

- ・給食センター建設工事着手

##### 【平成 33 年度（2021 年度）】

- ・給食センター竣工
- ・中学校完全給食の開始（平成 33 年 8 月予定）